

南の風 536

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

3 プレーの良し悪しを左右する重要概念の続きです

基本概念③ サポート

チームメイトを支える、あるいは助けることをサポートといいます。変化していくゲーム状況に
応じて必要になってくるオフボールプレーヤーのポジショニングのことです。チームの5人が好
き勝手に動くのではなく、戦況や状況に応じた効果的なサポートである必要があります。「チームメ
イトを助ける」「チームメイトを支える」ことがチーム全員にどれだけ当事者意識として受け止めら
れ、自分ごととして浸透しているかが重要です。特にゲーム中、ボールに関わっている選手以外の選
手のサポートは、チームのパフォーマンス向上に大きく影響します。その意味でも、単なるプレーの
意味を超えた、バスケットボールの成果に直結する、より重要な概念としてとらえ、突きつめるべき
だと考えられます。

基本概念④ アドバンテージ

アドバンテージ (advantage) とは、いわゆる有利さ、優位さ (優位性) といった意味の一番広
い大枠の概念です。もともと備わっているアドバンテージもあれば、相手から獲得するアドバンテ
ージもあります。有利の反対は不利 (disadvantage) です。バスケットボールでは何らかのアドバン
テージ (有利さ) を求めてプレーしますが、特に得点することに関わるアドバンテージをチャン
スといいます。

基本概念⑤ クリエイト

クリエイトとは、チームで協力して相手のディフェンスに揺さぶりをかけ、意図的にアドバンテ
ージ (有利な状況) をつくりだすという基本概念のことです。恩塚氏は恩塚メソッドの中で、段階の
枠組み (クリエイトの段階) で焦点を当てていますが、局面、段階、ゾーンといった枠組みにとらわ
れず、オフェンスでは常に意識する必要があります。「クリエイトする」という言葉の背景には、
基本概念としてのスペーシング、ポジショニング、サポートを駆使してアドバンテージをつく
りだし、良いシュートをおこなうまでの過程が含まれます。

基本概念⑥ カウンター

カウンターとは、「裏を突く、反撃する」というニュアンスを含んだ概念のことです。2つの概念
があります。1つ目はディフェンスのクローズアウトの状況です。カウンター1対1という表現で用
います。次に、戦術的な概念であり、相手の戦術に対するカウンターです。スカウティングの発達で
戦術的な要素が相手に研究され、やろうとすることが先に察知され妨害されてしまうことが多くな
ります。ある戦術をシステムとして構築していく際には、相手が対応してきたときに備えてその
システムのカウンターまでをセットしておく必要があります (カウンター戦術)。

あるいは個人のレベルの相手との戦いにおいても、単に先を読むだけでなく、そのカウンターの
発想も重要になってきます。

次号に続けます